

平ヶ岳山行記録



三山と裏三山縦走路

目的地	平ヶ岳	期 日	平成19年8月12日(日):終日快晴
山人	笠原正雄・笠原澄子	特 記	下界は猛暑日。2人とも翌日も休日のお盆休み山行。

地名	(着)～(発)	記 事
前日(11日)		
与板発	午後6:45	YHCポストに届けを出してコンビニでおにぎり調達。堀ノ内まで高速。
登山口P	9:30着	駐車多数。一角の駐車し、脇に幕営。残り物の塩焼ソバ。10:30就寝。星空。
当日(12日)		
登山口P	午前4:05発	3:00起床。天幕撤収。湯をサーモスにつめる。暗いなか頭電で歩き出し。
ヤセ尾根を登る	4:40	まだ空は薄暗いが、雲は無い。頭電を収納。半袖歩行へ。
前坂のピーク	5:00	看板過ぎの小ピークで地図を広げる。まだ太陽は昇らないが、燧ヶ岳が明るくなって来た。単独男が追いつき追い越して行く。
日の出	5:20	背後から陽射しを受ける。前方尾根のトップが赤い。振り返ると眩しい。
下台倉山手前	5:45	この登りの途中で日焼け止めクリームを塗る。もう一人単独が行く。
下台倉山通過	6:15	標柱:鷹ノ巣3.3km/平ヶ岳7.2km。ここからは傾斜が緩む。木道が現れる。
台倉山三角点	7:10～7:25	この手前で右の視界が開けた所から、池ノ岳の登路と山頂が見えた。三角点小広場で灌木の日陰に腰を下ろして、おにぎり朝食。この先で、単独男が下って来た。山頂下水場は使えると聞く。この後10分下って台倉清水。そちらに進んでみたが沢に降りる道が急傾斜なので引返す。更に単独下山者あり。
白沢清水	8:15	水場は溜まり水で使用不可。5分後道脇の切り丸太に腰掛け休む。
姫ノ池	9:35～9:40	白沢清水後、眠気が差して来て、木道を朦朧として歩く。急登の手前の樹林で立ち休みしてから登りにかかる。中ノ俣林道からの上山者が下りて来た。山頂が良く見える。歩く人も見える。裸地ピークを過ぎ、針葉樹灌木帯の木道で妻を先に歩かせ、抜け出して姫ノ池へ。クマノ木が盛りだ。
ツガ廊下		ツアーとスライド。女ガイドが三角旗で先頭だ。皆が無表情で楽しそうで無い。
平ヶ岳山頂	10:10	単独男と同時に到着。写真を撮り合う。更に木道を先に進む。
木道行き止まりランチ	10:15～11:20	やはり幾人かが木道に腰をおろしてランチ。通行止め看板まで進み木道でランチ。山形からの単独男。ついで関西訛りの低学年女兒3人を連れたファミリー等。越後三山や兎岳からの裏三山縦走路を確認する。朝日、茂倉岳が意外と近い。
ツガ廊下三叉路	11:40	山頂0.8/水場0.1/玉子石1.0km。水場で沢水を汲む。
玉子石	12:15	玉子石下の池塘がきれいだ。関西ファミリーも来た。写真を撮り合う。
姫ノ池	12:40～12:50	テラスに男2人が寝転ぶ。デポザック数個。キノコ、イソヨブを撮る。
白沢清水	1:40～1:45	姫ノ池で下山を先行した夫婦が休む。若者2人が追い越して行く。
台倉清水	2:20～2:35	おにぎりを食べ、靴下を履き替える。数人が休んでいて先行して行った。
台倉山三角点	2:45	通過。燧ヶ岳が良く見える。相変わらず陽射しが強い。
下台倉山	3:30～3:35	立ち休み。玉子石・姫ノ池で一緒になった夫婦が道にバテ気味に座り込んでいた。コースタイムより時間が掛かってきた。この先俺が先を歩く。
前坂	4:25	日脚が長くなって来た。先を下りて行く関西ファミリーが見えた。彼らは鷹ノ巣上山で大したものだ。上半身裸にザックを背負う高年男を一声掛けて追越す。
登山口P	5:15	下台倉沢の清流で顔を洗い体も拭いてさっぱりする。Pには明日登る人が数人いた。その内の一人と下って来た裸男と会話する。「飯豊、早月尾根よりハードだ」と裸男が言う。彼は会津朝日、会津駒とレンチャンツワモノだ。

一昨年の秋に単独で出掛けた。曇で全く展望は無かったし、玉子石へも行かなかった。もう一度行きたいと思い妻と出掛けた。暑さは承知の上だ。全くの快晴でずっと燧ヶ岳に見守られながらの上下山で、申し分の無い展望を楽しめた。一方、サーモスの湯を含めて20の水を持っての歩行だったが、山頂水場で補給できなかったならば、不足したと思われる。歩き出しから下山到着まで13時間の長丁場だが、満足の山行であった。